

●シンポジウム● 「当事者の声を聞く」～第3号研修がひろげる暮らし～

喀痰吸引等研修事業が始まって3年。医療的ケアを必要とする方々の地域での暮らしに「第3号研修」はどのように役立ってきたのか、「当事者」の生の声を聞かせていただきながら、その意義を確認するために集いたいと思います。

「当事者」というとき、こどもからおとなまで、また実際に医療的ケアを必要とする方から家族、そして「支援者」もまた「当事者」だと言えるでしょう。

第3号研修がそれぞれの立場の方々にとって、どのように役立ち、またどのような課題があるのかを共有しつつ、厚生労働省の「平成25年度 喀痰吸引等研修(第3号研修)実態調査の結果について」という報告書から見える全国の課題もひもとき、京都発の成果と課題から全国の課題を抽出し、これから必要となるだろうと思われる、第3号研修を実施している研修機関・事業所をふくめた「当事者」のつながりの必要性を問います。

第3号研修によって得られた成果と課題をあきらかにしていくことで、「当事者」にとってより充実したものとしていくために、一緒に考えていきましょう。

<討論テーマ>シンポジスト

司会&コーディネーター／篠原文浩(医療的ケアネット理事)

1. 重症心身障害児者・家族の立場から

東海林美希子さん(重度脳性麻痺の女の子の母・作業療法士)

2. 学校や育ちの場からの報告

下川和洋さん(NPO法人地域ケアさぼーと研究所)

3. 「難病」患者・家族の立場から

増田英明さん(一般社団法人日本ALS協会【近畿ブロック】会長)

4. 「支援者」の立場から

高橋慎一さん(日本自立生活センター・介助者)

5. 共通する成果と課題を確認・共有・宣言

会場のみなさんと杉本健郎(医療的ケアネット理事長)



●6月21日(日) 13時30分～17時(受付13:00～)
(17:00～2015年度NPO法人医療的ケアネット総会、18:00～交流会)

●ホテル ルビノ京都堀川 2F 加茂の間

〒602-8056 京都市上京区東堀川通り下長者町下ル 電話 075-432-6161

京都駅から市バス50系統又は9系統「堀川下長者町」下車 徒歩1分

●参加費:会員1000円、非会員1500円(シンポ当日でも会員受付可能です) *交流会会費5000円
(参加申し込み締切りは、6月15日といたします。FAXかEメールでお願いいたします。)

主催/NPO法人医療的ケアネット